



県内の強豪が熱戦

■5月3日から2日間、全日本学童軟式野球大会県予選大会が開催され、県内各支部から16の代表チームが熱戦を繰り広げました。枕崎支部からは桜山野球スポーツ少年団が出場。主将の下園陽斗くんが力強く選手宣誓を行いました。



第1回枕崎 I ZAKAYA 屋台村

■5月11日、12日に枕崎港内港水揚場で開催され、市内の飲食店や鹿児島水産高校が出店しました。来場者は冷たいビールやおいしいおつまみなどを味わいました。



「枕崎鯉船人めし」種子島でも大人気

■4月27日、種子島公設地方卸売市場で開催された「種子島ヨット祭り」に枕崎市通り会連合会が「枕崎鯉船人めし」を出店し、本市食のPRを行いました。用意した150食が完売する人気ぶりでした。



薩摩青雲丸が航海実習に出港

■4月26日、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」が、専攻科1・2年生の実習生17名を乗せて、68日間の航海実習に出港しました。ハワイ沖でマグロはえ縄漁などの実習を行い、6月17日に枕崎に帰港する予定です。



杖立温泉でかつお節や鯉たたきPR
～さつま鯉節協会・枕崎市かつお鮮魚販路対策協会

4月29日、熊本県小国町で開催された「杖立温泉鯉のほり祭り」でさつま鯉節協会と枕崎市かつお鮮魚販路対策協会がかつお節削り体験やかつおパックの配布、枕崎ぶえん鯉と鯉たたきの振舞いなど、本市特産品のPR活動を行いました。

祭り会場は、温泉地として有名な杖立温泉を流れる杖立川に泳ぐ約3,500匹の鯉のほりを見ようと全国各地からの観光客で賑い、鯉のほりと一緒にかつおのほりも泳ぐ中、多くの来場者が本市ブースに立ち寄り、枕崎自慢の食を堪能しました。かつお節削り体験を楽しんだ親子は「削りたては風味も豊かでとてもおいしい」と笑顔を見せていました。



「血圧を測ろう祭り」を開催
～「高血圧ゼロの街 枕崎」プロジェクト

今年度の新規事業「高血圧ゼロの街 枕崎」プロジェクトの一環として、「血圧を測ろう祭り」が5月18日、市民会館で開催されました。

当日は、血圧大測定会やお薬・サプリ相談、高血圧予防相談などが行われた後、鹿児島大学大学院心臓血管・高血圧内科学の大石充教授による「血圧測定から始まる自分のための健康づくり」と題した講演が行われました。

講演では、大石教授がユーモアを交えながら高血圧の対策や血圧と生活習慣病の関係などについて話し、参加者は健康への意識を高めました。



子どもたちと大人の交流の場を目指して
～枕崎版子ども食堂 スマイルキッチン「にんぎまんま」

枕崎版子ども食堂スマイルキッチン「にんぎまんま」が4月27日、南薩地域地場産業振興センターに開設され、多くの子どもたちや保護者などが訪れました。

スマイルキッチン「にんぎまんま」は、参加した子どもたちが色々な方々と触れ合うことにより大きな学びを得るとともに、大人も子どもたちと接することにより、童心に帰って楽しい時間を過ごせる場を提供することを目的に3月末にオープンし、今回が2回目の開設となりました。

訪れた人々は、ボランティアスタッフの方々が調理した豚丼や豆腐とわかめの味噌汁などを味わいました。



子どもたちの元気な声響く
～第37回こどもの日かつおまつり

「枕崎市制施行70周年記念事業 こどもの日かつおまつり」が5月4・5日、地場センター周辺で行われました。両日晴天に恵まれ、会場は県内外からたくさんの家族連れなどでにぎわいました。

メインステージでは恒例のかつお節削り大会やかつお一本釣り大会が行われ、子どもから大人まで多くの方が参加し、会場は大いに盛り上がりました。今年は初の試みで「オールドカーフェスタ」が4日に開催され、普段見ることのできないオールドカーが並びました。

地場センター前では、枕崎高校と鹿児島水産高校の特色を生かしたブースや2020年に開催される「燃ゆる感動がごしま国体」に向けてなごなた体験ブースが設けられ、多くの来場者の注目を集めていました。飲食ブースでは、枕崎鯉船人めしをはじめとするさまざまな店が出店し、来場者は楽しい連休のひと時を過ごしていました。



交通安全・地域安全を呼び掛ける
～春の全国交通安全運動、春の地域安全運動

5月11日から20日までの10日間は、春の全国交通安全運動・地域安全運動期間でした。期間中は、市内の各地で交通事故防止やうそ電話詐欺の被害防止などに関する活動が行われました。

また、期間中の15日には交通安全・地域安全運動街頭キャンペーンが行われ、鹿児島水産高校の交通委員や有志の生徒13名のほか、市や警察、各種団体が鹿児島銀行前やダイレックス前の路上で交通安全の啓発活動を行いました。